

ジャックス、三菱UFJ銀行の第1号案件として 「人的資本経営評価型ローン」を契約締結

株式会社ジャックス（本部：東京都渋谷区、代表取締役社長：村上 亮、以下「ジャックス」）は、株式会社三菱 UFJ 銀行（本店：東京都千代田区、取締役頭取執行役員：半沢 淳一、以下「三菱 UFJ 銀行」）との間で、人的資本経営評価型ローン（以下「本商品」）契約を2024年3月29日に締結いたしました。なお、本商品は三菱 UFJ 銀行の第1号案件となります。

本商品の人的資本経営評価については、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（以下「MUFG」）の一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「MURC」）をサービス提供者、サステナブルファイナンスの評価を行う株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）をサポート企業としています。MURC が人的資本経営に関する独自のチェック項目に基づき、企業の人的資本経営に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題なども企業にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

ジャックスは、MUFG の人的資本経営評価において、「特に進んでいる人的資本経営」との評価である A ランクを取得しました。

【本商品契約の概要】

契約締結日	2024年3月29日
借入金額	210億円
貸付人	株式会社三菱 UFJ 銀行
サービス提供者	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
サポート企業	株式会社日本格付研究所
評価	A ランク（特に進んでいる人的資本経営）

ジャックスグループは、中期3カ年経営計画「MOVE 70」における3年後のあるべき姿として、ESG 経営の推進を掲げています。そのなかで、特に高く評価を受けた人的資本経営に関する取り組みは次のとおりです。

✓管理職に占める女性の割合、男女の賃金格差、男性の育児休業取得率、有給休暇60%以上取得者率、ビジネスリーダー研修修了者数、デジタル人材認定者数等、様々な実績および目標値を設定している。更に、当該目標の達成のための具体的な施策（新たな人事施策の導入、女性社員のための教育プランの策定、育児休業取得の促進に関する啓発、デジタル人材育成プログラムの実施等）につき公表している。

- ✓ビジネスリーダー研修や女性リーダー研修を実施した上で、研修の参加者には必ずアンケートを取り、意識向上やスキルアップ等の効果を確認している。
- ✓男性労働者の育児休業取得率を向上させるための施策（ロールモデルの社内周知、個別面談の実施）を実施し、育児休業を取得しやすいカルチャーの醸成に努め、取得の実績についても男女別で公表（女性の育児休業取得率は100%）している。
- ✓ラインケア研修、拠点訪問によるヒアリング、健康に関する通信教育等を実施し、ヘルスリテラシー率、ストレスチェック実施率やアブセンティーズム・プレゼンティーズムを確認している。

ジャックスは、今後もサステナブルファイナンスなどの資金調達が多様化を進めるとともに、ESG 経営の推進に即したファイナンスの継続的な実施および拡大を行ってまいります。そして、これらの事業活動を通じ、社会課題の解決に貢献することで持続可能な社会の実現と企業価値向上を図ってまいります。

以 上

「本件に関するお問い合わせ先」
株式会社ジャックス コーポレートコミュニケーション部 （担当：穴田）
TEL：03-5448-1313
E-mail：rie_anada@jaccscard.co.jp